

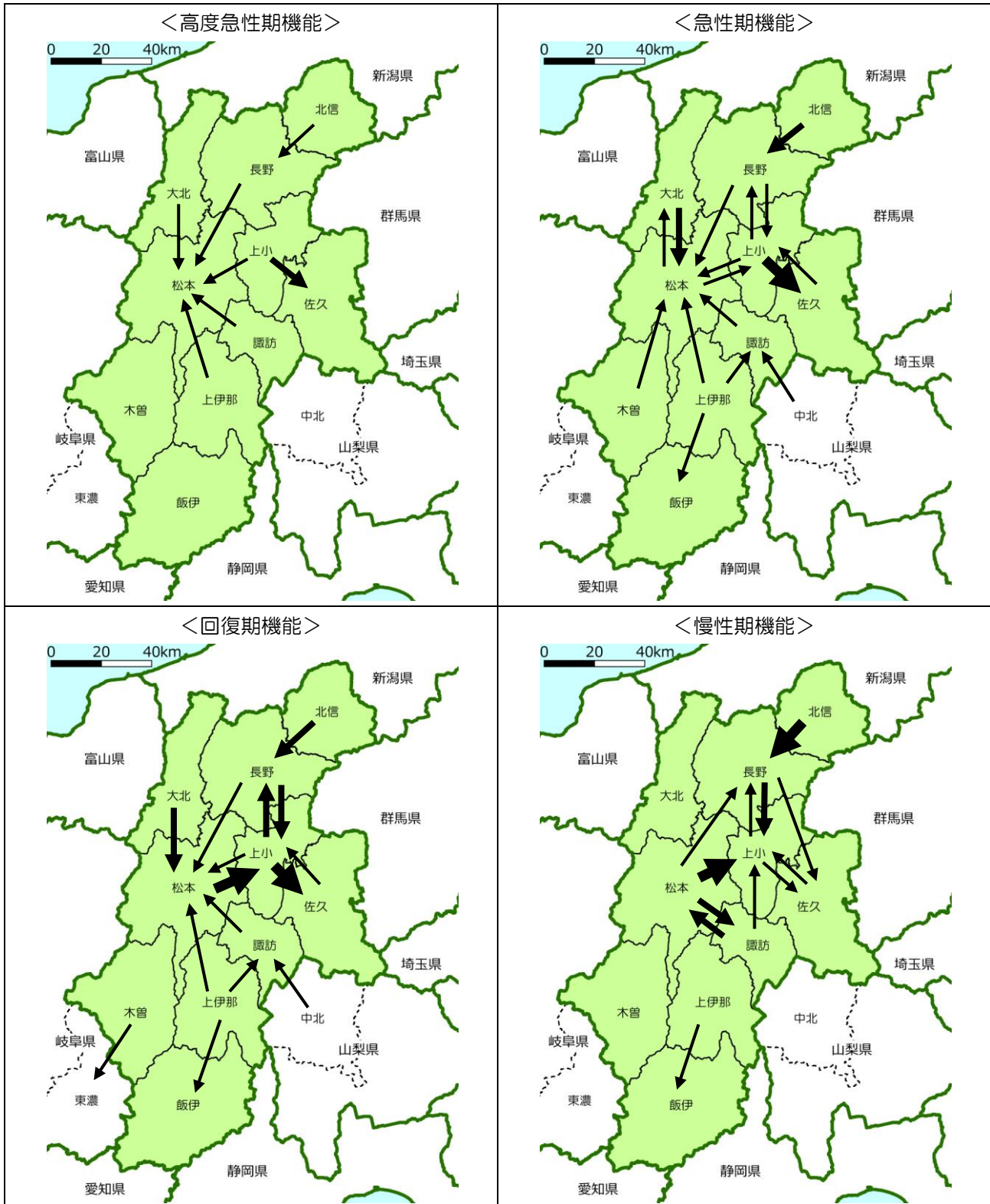
医療提供体制の現状分析

1. 構想区域間の患者流出入の状況

(1) 医療機能別の患者流出入の状況（2013 年度）

◆医療機能によってそれぞれ地域的な特徴がみられる。

図 4 機能別の患者流出入の状況（2013 年度、10 人/日以上）



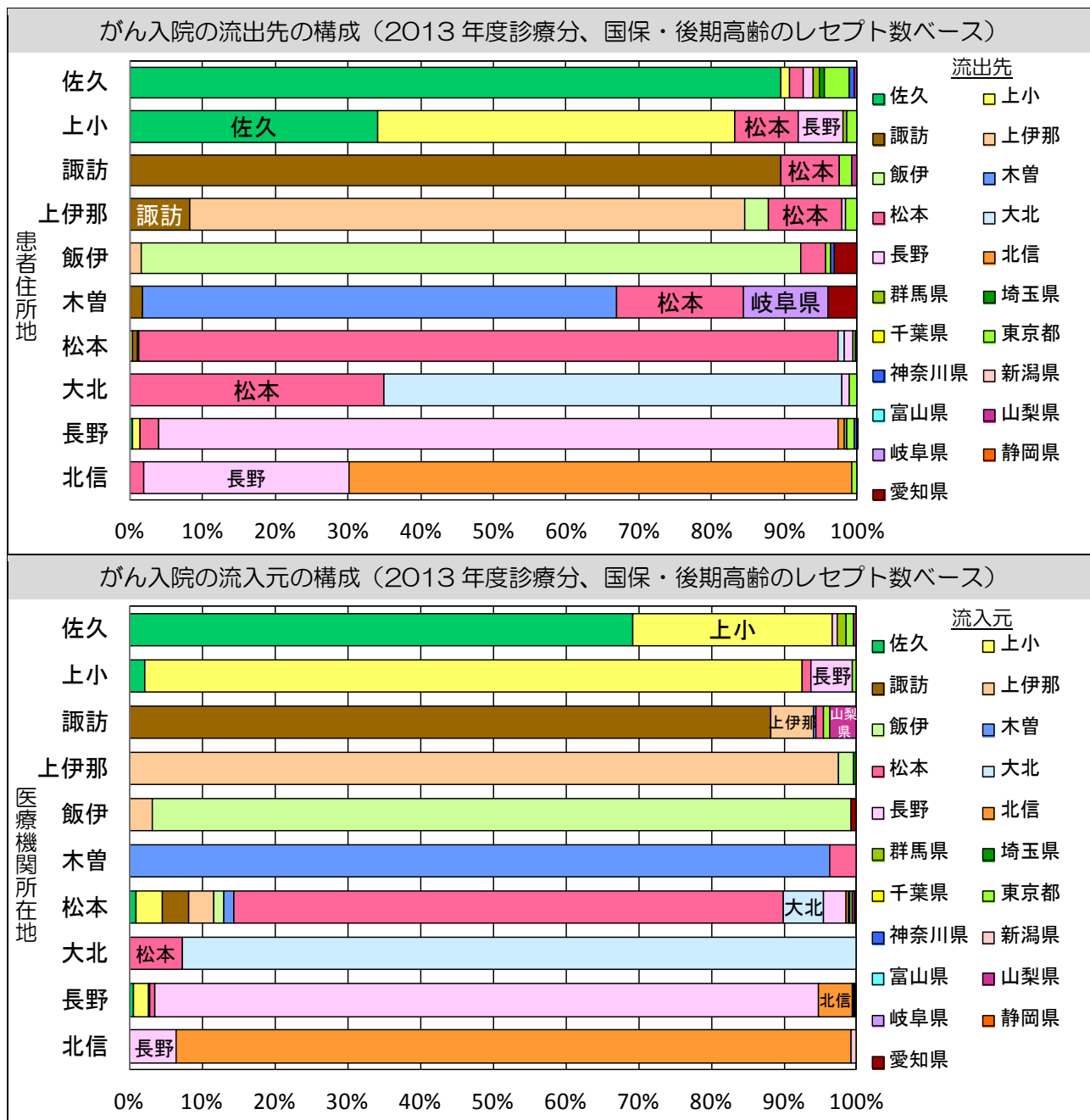
…流出者数 10~25 人
 …流出者数 25~50 人
 …流出者数 50 人以上

厚生労働省提供「地域医療構想策定支援ツール」を用いて作成

(2)主な疾病・事業別の患者流出入(2013 年度診療分、国保・後期高齢のレセプト数ベース)

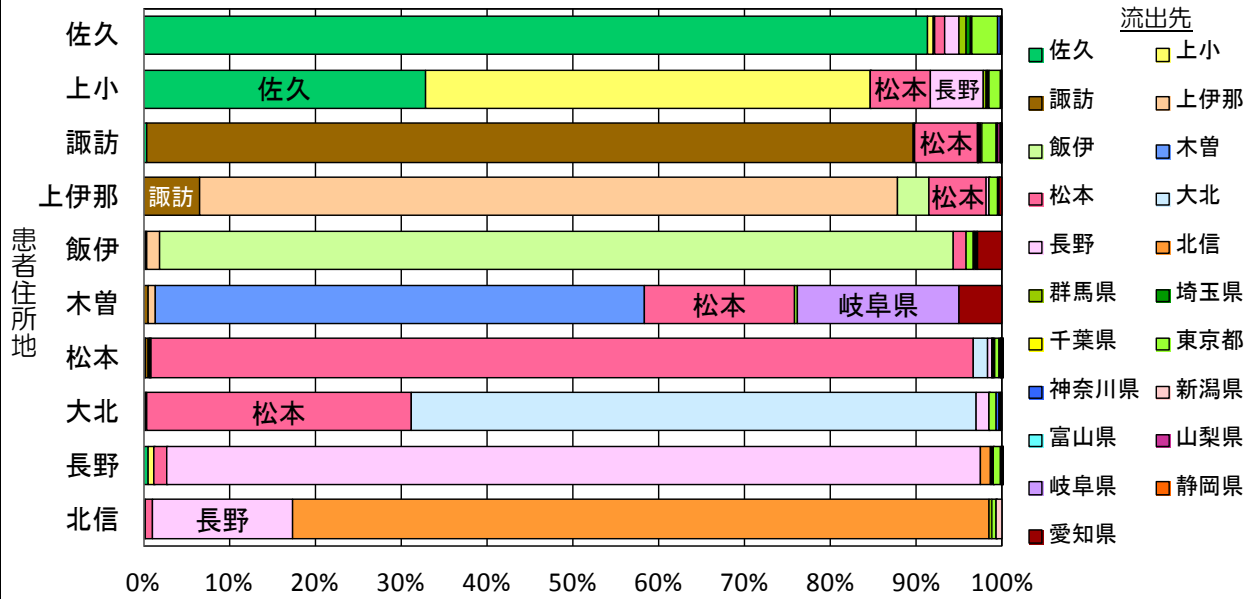
◆ がん

- 患者の域外流出が多い医療圏は、入院・外来ともに、上小・木曽・大北・北信の各医療圏である。
- 上小医療圏では佐久医療圏への流出のほかに、松本・長野の各医療圏への流出もみられる。
- 木曽医療圏では松本医療圏への流出のほかに、岐阜県への流出が多い。
- 松本医療圏には、多くの医療圏から患者が流入している。
- 諏訪医療圏には、山梨県から患者が流入している。

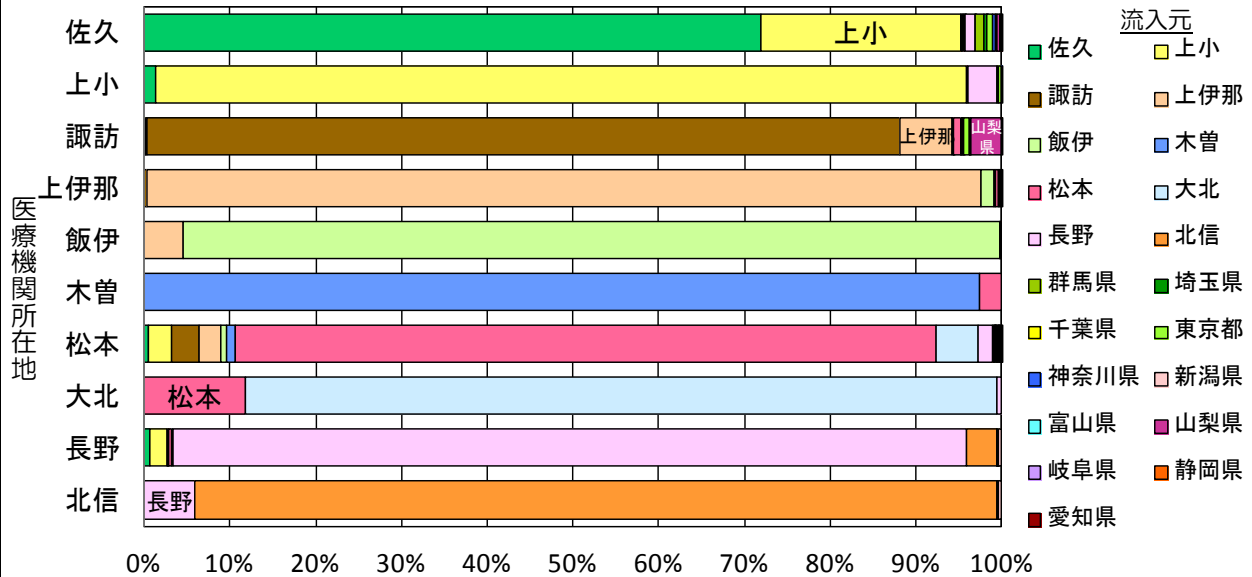


厚生労働省提供「医療提供体制(SCR)・受療動向分析ツール」より作成

がん外来の流出先の構成（2013年度診療分、国保・後期高齢のレセプト数ベース）



がん外来の流入元の構成（2013年度診療分、国保・後期高齢のレセプト数ベース）



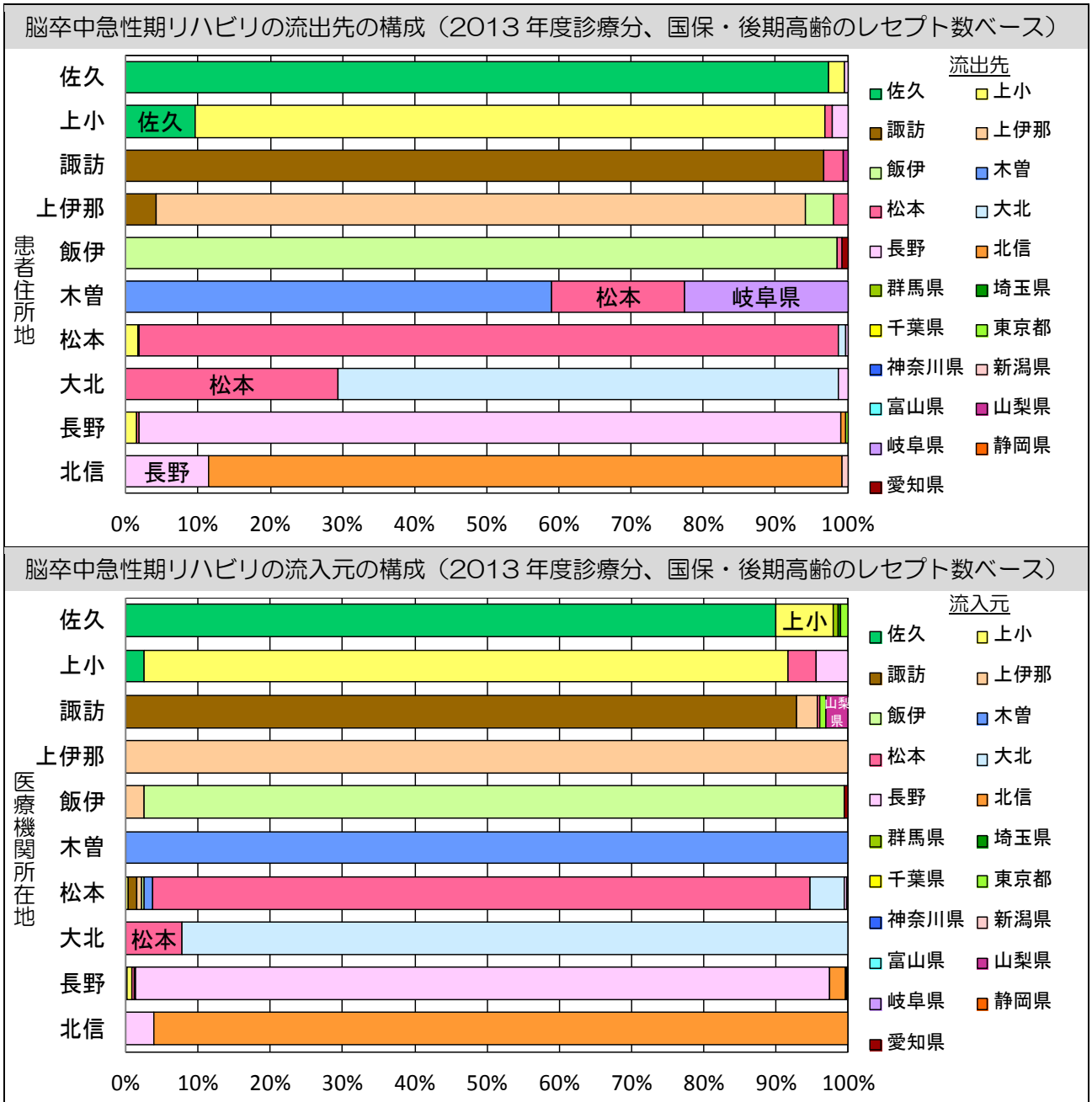
厚生労働省提供「医療提供体制(SCR)・受療動向分析ツール」より作成

◆ 脳卒中

○ここでは、脳卒中の急性期医療について、レセプトの絶対数が少なく傾向がつかみにくい超急性期脳卒中加算にかわり、脳卒中に対する急性期リハビリテーションに関する状況を整理する。また回復期について、大腿骨頸部骨折を含む値ではあるが、回復期リハビリテーション病棟への入院に関する状況を整理する。

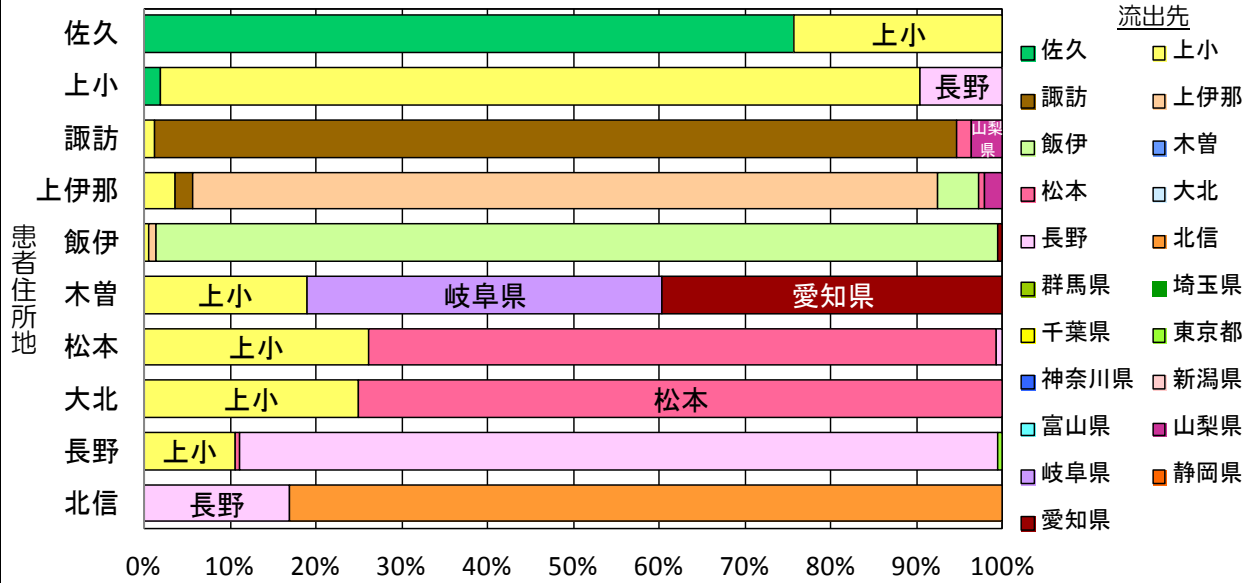
○脳卒中に対する急性期リハビリテーションを受ける患者の域外流出が多い医療圏は、木曽医療圏・大北医療圏である。木曽医療圏は松本医療圏と岐阜県への流出、大北医療圏は松本医療圏への患者流出が多い。上小医療圏と北信医療圏では、がんに比べて域内完結の割合が高い。

○回復期リハビリテーション病棟の入院患者の流出入は、急性期リハビリテーションと大きく異なる。松本・長野・佐久・大北・木曽の各医療圏から上小医療圏に患者が流入している。

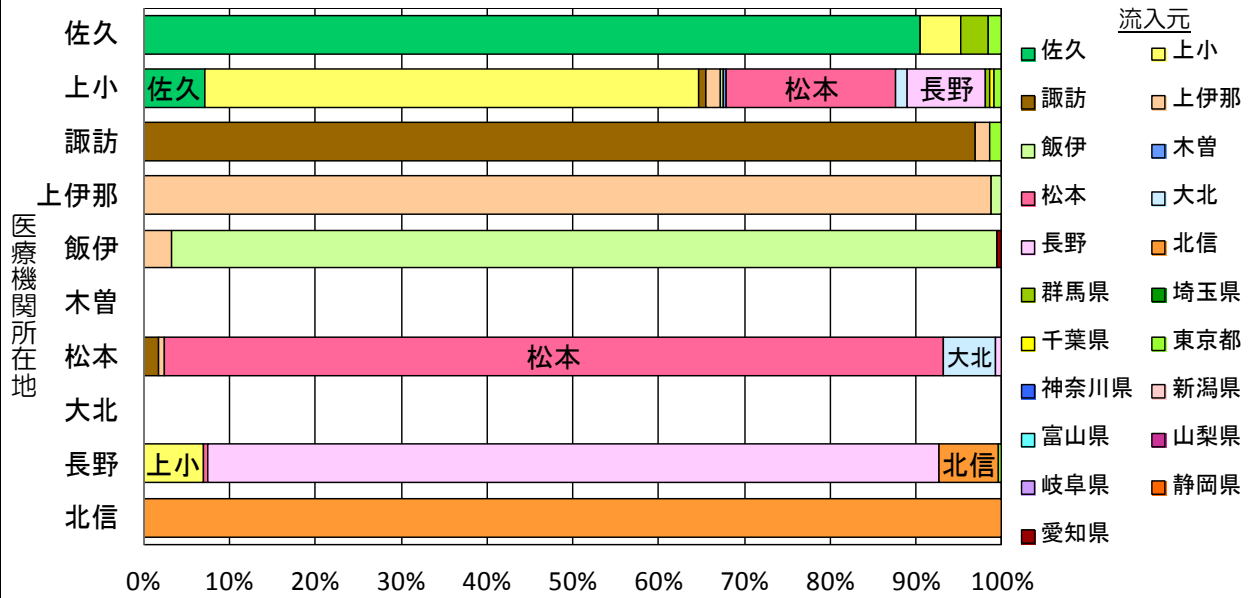


厚生労働省提供「医療提供体制(SCR)・受療動向分析ツール」より作成

回復期リハビリテーション病棟への入院の流出先の構成（2013年度診療分、国保・後期高齢のレセプト数ベース）



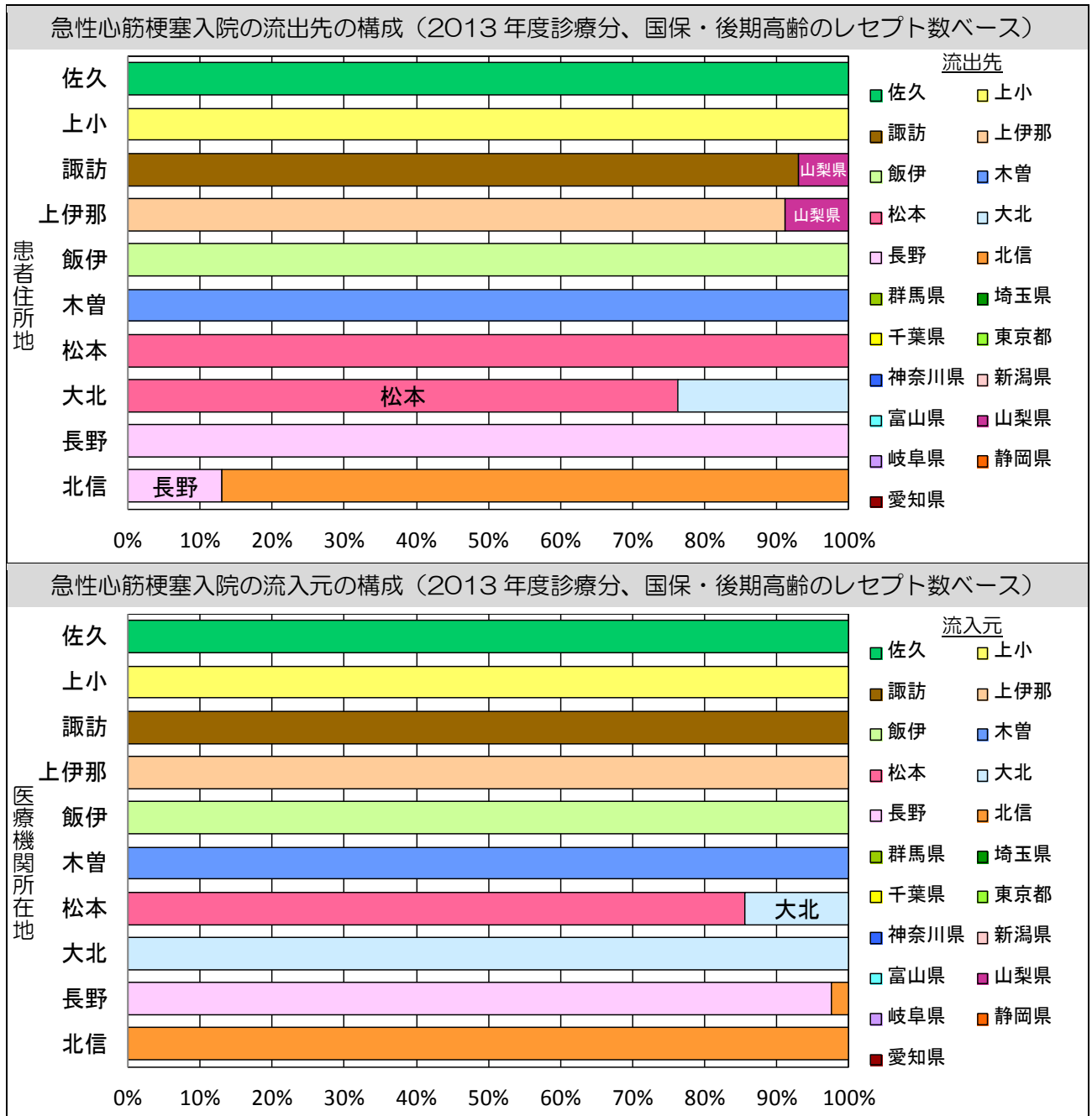
回復期リハビリテーション病棟への入院の流入元の構成（2013年度診療分、国保・後期高齢のレセプト数ベース）



厚生労働省提供「医療提供体制(SCR)・受療動向分析ツール」より作成

◆ 急性心筋梗塞

- 大北医療圏から松本医療圏への患者の流出、長野医療圏から北信医療圏への患者の流出が多い。
- 上伊那医療圏と諏訪医療圏からは、山梨県への患者流出がみられる。

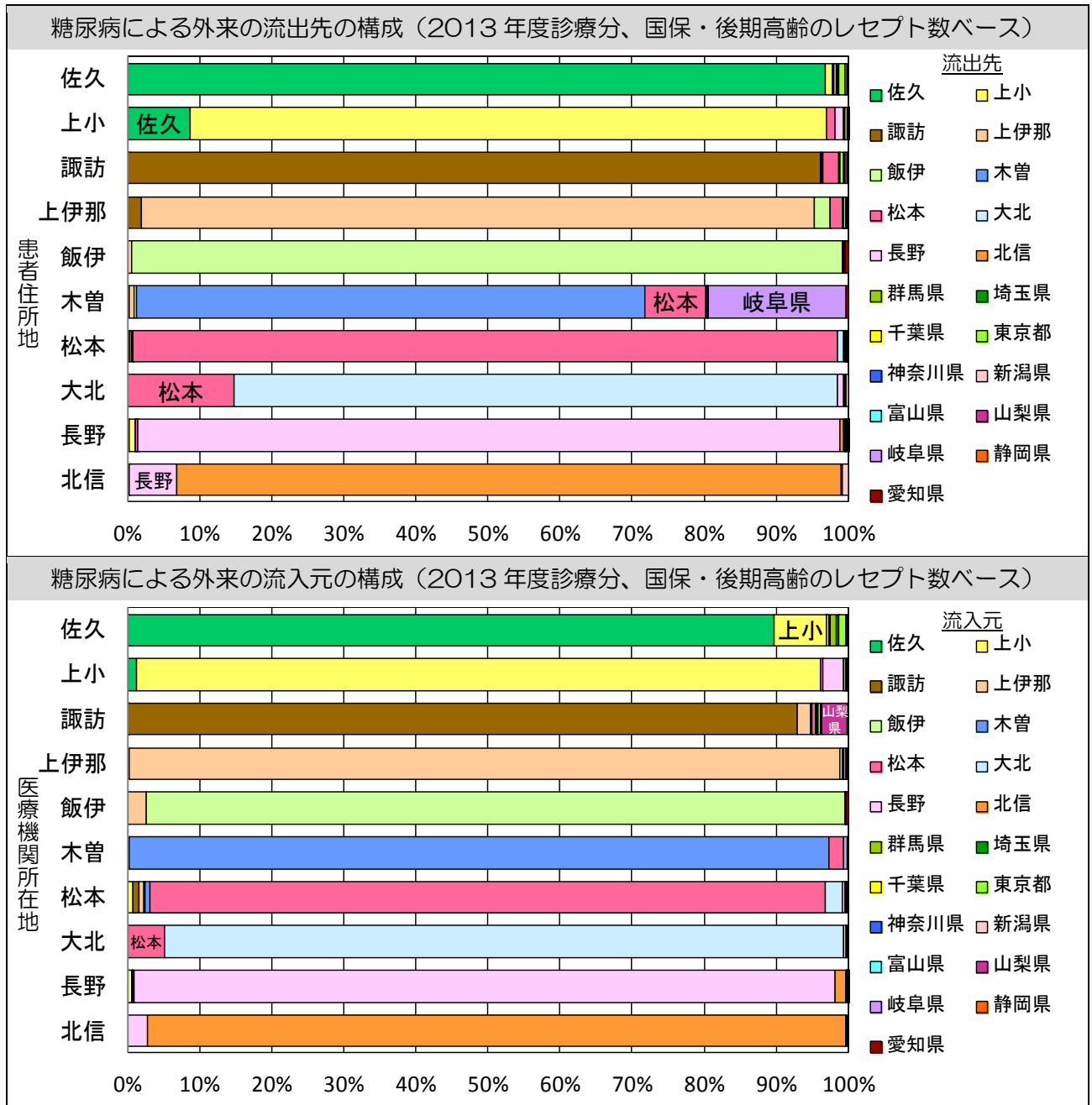


厚生労働省提供「医療提供体制(SCR)・受療動向分析ツール」より作成

◆ 糖尿病

○木曽医療圏から松本医療圏や岐阜県、大北医療圏から松本医療圏への外来患者の流出が多い。

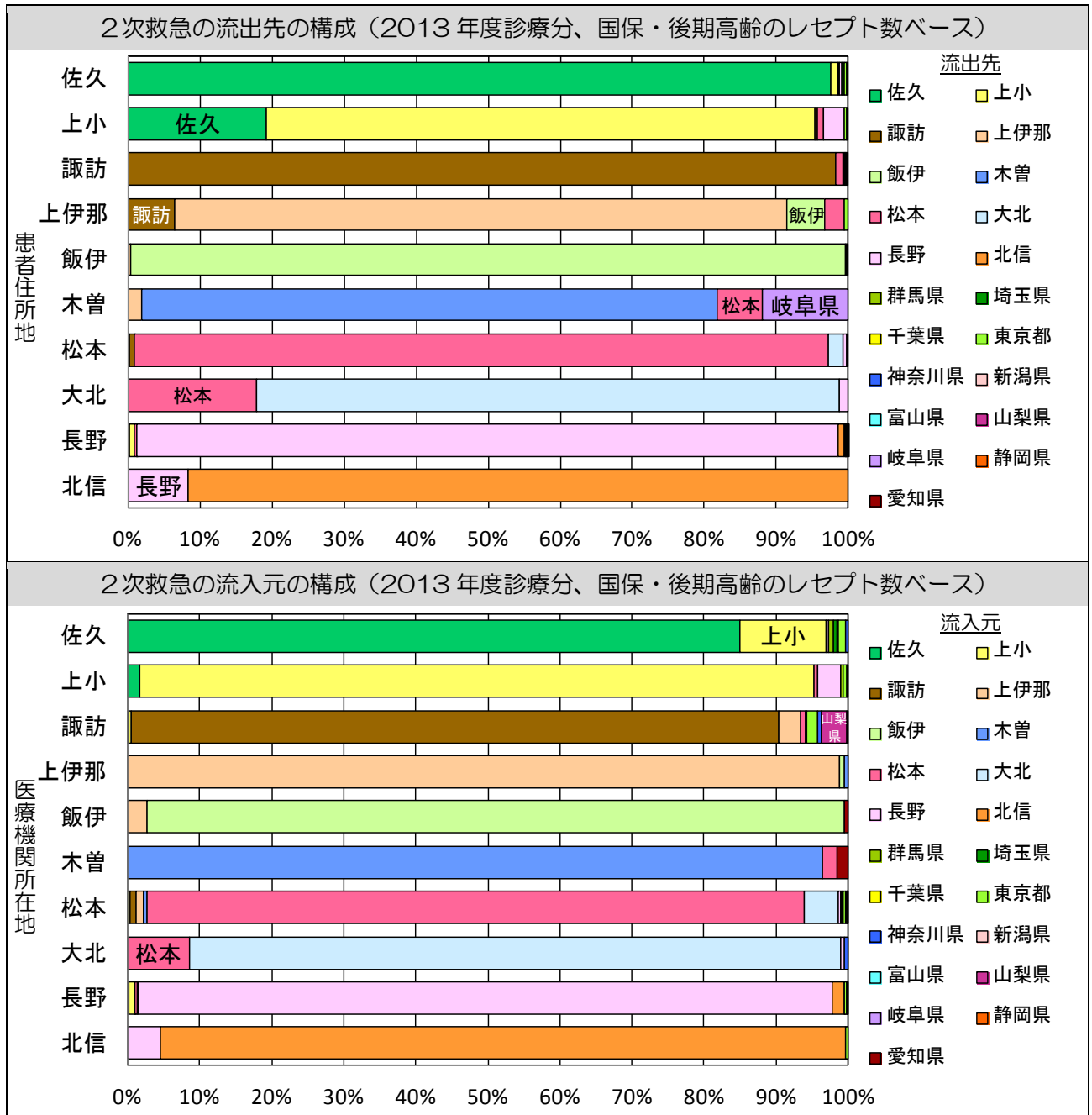
○木曽医療圏を除き、他の項目に比べて各医療圏の域内完結性は高い。



厚生労働省提供「医療提供体制(SCR)・受療動向分析ツール」より作成

◆ 救急医療

○2次救急に係る患者は、いずれの医療圏においても、おおむね80%以上が域内で完結している。
 ○域外への流出は、人口分布が境界をこえて連なっている地域間のものが比較的多い。

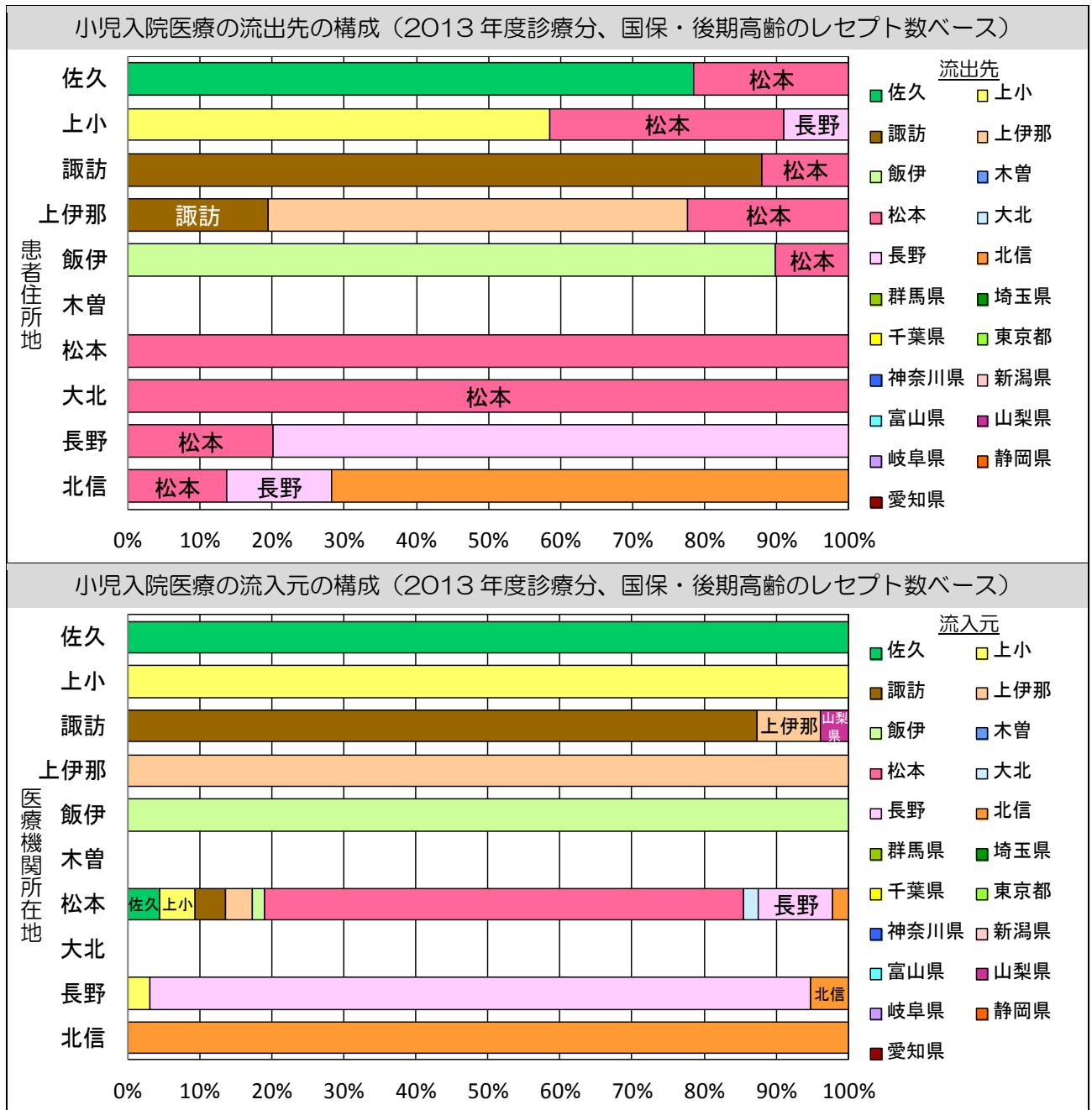


厚生労働省提供「医療提供体制(SCR)・受療動向分析ツール」より作成

◆ 小児医療

○県内全域から、松本医療圏に患者が流入している。

○この他、上伊那医療圏から諏訪医療圏、北信医療圏や上小医療圏から長野医療圏への患者流出も比較的多い。



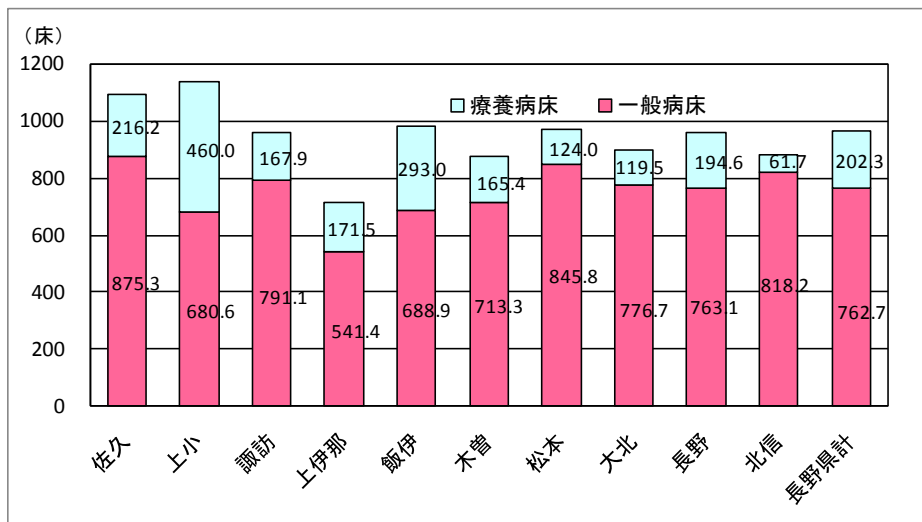
厚生労働省提供「医療提供体制(SCR)・受療動向分析ツール」より作成

2. 病床数、医師数の状況

①人口 10 万人当たり病床数

◆人口当たりの一般病床・療養病床の合計数は、上小医療圏が最も多く、上伊那医療圏が最も少ない。

図 人口 10 万人当たり一般病床数・療養病床数（2014 年）



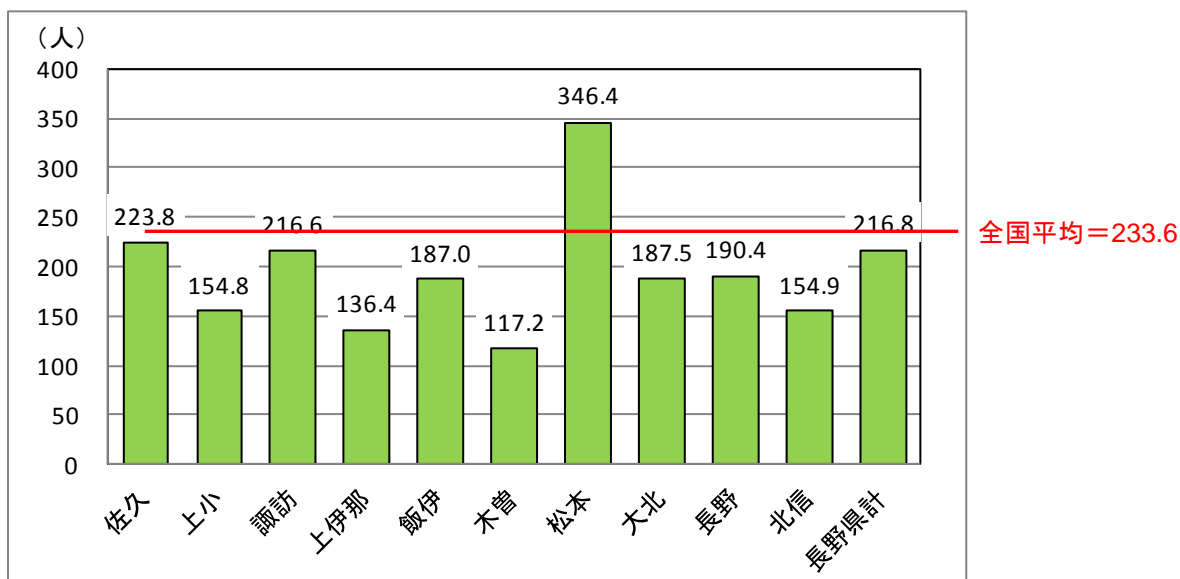
出典：人口……長野県毎月人口異動調査、病床数…長野県 病院・診療所名簿より作成

②人口 10 万人当り医師数

◆2014 年末時点における、長野県の二次医療圏別の人口 10 万人当たり医療施設従事医師数は、多い順に松本 346.4 人、佐久 223.8 人、諏訪 216.6 人となっている。

◆一方、少ない順では、木曾 117.2 人、上伊那 136.4 人、上小 154.8 人となっている。

図 人口 10 万人当たり医療施設従事医師数（2014 年）



出典：長野県毎月人口異動調査、厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」より作成